

衣料管理士



あるあるネタ

- 店頭で服を手にとると、まずはタグと縫製を見る。
- 「この素材、洗濯縮むな」と言いながら自然と洗濯表示を確認している。
- クローゼット整理中に「この布地の混率、バランスいいな」とつい分析してしまう。

初期の失敗

新卒で初めて担当した製品管理で、ポリエステル混のシャツに過剰なアイロン熱をかけてしまい、微妙に光沢が変わってしまいました。衣料は見た目だけでなく“繊維の呼吸”も見なければならぬと実感しました。

職業病

洋服を買うときに「組成」「縫製状態」「洗濯表示」の3点チェックを無意識に行ってしまい、試着前にもう判断が終わっている。百貨店でも職業目線が止まらない。

健康問題

細かな検品や素材確認による目の疲れ、立ち仕事での足腰の負担、また静電気やホコリの多い環境での肌荒れ・喉の不調などもあります。集中力の持続による精神的疲労も見過ごせません。

その職業に就いている人を讃える

あなたはまさに“布と品質の守り人”ですね。誰かが着る服に隠された安全・衛生・快適さを、数字と目と手で確かめていくその姿勢は、まるで“繊維の調律師”。仕上がった服を見て、表情より“縫い代”に目が行くその誠実さが、知らず知らず多くの人の暮らしを支えています。どうか目と指先に優しく、自分の衣服もたまには“着心地”で選んで、これからも“安心できる一着”を社会に届けてください！